

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
南区防災・防犯活動支援事業			南区役所 自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	R5	R6	R7	
近年多発する自然災害に備えて、地域における防災力強化に向けた取組を行うことにより、地域防災力向上を図る。また、南区役所と南堺警察が協力し、街頭犯罪発生件数の減少に努める。	①南区自主防災組織連絡協議会 ②防災士養成プログラム ③小学生防災リーダー養成講座 ④戦略的防犯灯	①実務者連絡会参加(地区)数	20校区(地区)			
		②防災士資格取得者数	38			
		③校区(地区)の防災訓練に参加したいと回答した割合	67%			
		区における大阪重点犯罪認知件数	189			
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○ <ul style="list-style-type: none"> ①で校区自主防災組織間の連携や情報交換を通じて区全体の防災力向上を図る。 ②地域の担い手創出のため、防災士資格取得講座を開催する。 ③次世代を担う小学生に防災意識を醸成し、防災リーダーの育成を図る。 ④警察と連携し、市民が夜間通行時に犯罪の不安を感じやすいと想定される場所(緑道など)を選定し、戦略的に防犯灯を設置する。 	◎ <ul style="list-style-type: none"> 参加者は①は自主防災組織実務者、②は自主防災組織の次の担い手、③は南区内の小学生であるが、本事業自体は区が主体となって、準備・調整等を行っている。 ④警察と連携して設置場所を選定しているが、区が主体となって設置している。 	○ <ul style="list-style-type: none"> ①自主防災組織間での連携を促すことで、区全体の防災力向上につながる。 ②新たな担い手を創出し、継続的に地域防災力が向上することにつながる。 ③次世代を担う子どもたちへの防災に対する意識を醸成し、次世代を担うリーダーを育成する。 ④明るいまちづくりを推進することで犯罪を抑止する。 	◎ <ul style="list-style-type: none"> ①②の事業を連携させることで、防災士資格取得者が新たな地域防災の担い手となることを促す。 ③学校や地域と連携することで、地域での防災リーダー育成につながる。 ④警察と連携して暗い場所を選定することで、効率的に設置する。 			
⑤自立発展性	総合評価					
△ <ul style="list-style-type: none"> ①②③地域との連携により推進していく事業であるが、地域が主体となり企画・実施していくことは難しい。 ④警察との連携により推進していく事業である。 	○ <ul style="list-style-type: none"> ①南区内全20校区(地区)が参加し、区全体の防災力向上のための情報交換ができた。 ②受講者の9割以上の受講者が資格を取得した。 ③参加した小学生には好評であった。参加者数の増加と、校区の自主防災訓練への参加にどうつながっていくかが課題となった。 ④設置については地域からも賛同いただいている。今後の維持管理と犯罪発生件数減少への寄与を注視していく必要がある。 					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
拡充 継続 見直し 廃止	①②③令和5年度から7年度の3年で効果を検証していく。地区防災計画の策定の必要性や他校区での防災活動の発表など、区や他校区の動きを知る機会となった。また、②では9割以上の受講者が防災士資格を取得した。今後は、受講者の自主防災組織への定着を推進していく。③は参加者及びその保護者からは好評を得ているので、参加者を増加させる方法と地域の防災活動へどうつなげるかが課題である。 ④警察と連携して、戦略的に防犯灯を設置した。今後はその維持管理を行い、また、犯罪発生件数減少への寄与を注視していく。					